

異常な行動

個別番号	年齢 年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	症状中か否か (症状中:○、観察 中じゃない:×)	発熱の有無	発熱中の場合、 発熱時刻から発 熱までの時間	発熱の持続	発熱の程度	発熱の持続	発熱の程度	発熱の持続	発熱の程度	発熱の持続	発熱の程度	発熱の持続	発熱の程度	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見たか?と書いているのか?)	旧資料No		
209	B03010203	15	年	男性	妄想	2004/2/4 2004/2/5 2004/2/5 2004/2/6 2004/2/6 2004/2/6	夕 朝 夕 朝 夕	2004/2/6	-	x	No	-	No	No	No	解熱過程	-	No	-	2004/2/4 38.8℃位の発熱が認められ他院受診、インフルエンザA型と診断。 (夜)タミフル内服開始。 2004/2/5 (12:00頃)平熱となったが、「顔が変になった」と言う。 2004/2/6「記憶が変になった」と訴え、一晩中起きていた。タミフル投与を中止。 2004/2/8 脳神経科病院受診を紹介受診。頭部CT、脳波検査にて異常は認めず。 2004/2/10 近衛精神科を受診時「本来の自分ではない気がする…」と訴えたが、明らかな幻覚症状は認めず。 2004/2/13 著叙と変わらず会話もできるようになり、翌日には学習塾の授業にも出席した。 2004/2/18 学校へ登校したが、授業中に「世界の平和が役者によって定められている。脳内音楽が…」と訴え、言動もまったりと自宅に帰宅し、近衛精神科を受診。「確信されるかもしれない」と訴えていたため、統合失調症の発症を疑いhaloperidol 3.5mgを筋肉内投与し、入院の必要性も考えられた。 2004/2/17 当院精神科に受診。幻覚妄想を認め、両白濁療保入院。入院時現症:簡単な会話はあるが、会話の内容に一貫性に欠け、「僕は精神科医にならなければいけないような気がする…」と表情を憂い顔に話し続け、質問に対して適切な応答は得られず。暴怒性や不穏さ認めず。見当識も保たれていた。体温36.8℃で頸部副後所見で異常は認めず。血液・生化学検査はGPK、CRPの軽度上昇が認められた以外は異常なし。また脳波検査でも基礎波として後頭部位に9-11Hzのα波が認められ、後波傾向はなかった。脳液検査では髄鞘数が8μ/Lとやや多い以外は異常所見なし、インフルエンザ抗体価も1倍未満であった。 入院後経過:「神の声が聞こえてくる…」と訴え、病院内を徘徊するため、risperidone 1mgを投与したが、入院日の夜は朝4時頃まで自室と書櫃ステーションを何度も往復し、妄想の内容を話し続けた。また紙や壁紙に不要な内容を記載し、部屋中に記載した紙を散らした。入院2日目よりrisperidone 3mgに増量したが効果はなく4日目よりolanzapine 20mg、levomepromazine 50mgの投与を開始した。 2/21には異常行動が活発となり保護室にて治療を行っている。	異-1-9	
210	B05001828	15	年	男性	①腹痛 ②嘔吐	2005/3/20	10時過ぎ頃	2005/3/20	11:30	x	No	-	No	Yes	発熱持続	No	No	No	No	2005/3/20(11:30頃)腹痛が激しく寝ておきながら歩いている。右に傾き立っていらなくなり、家人が介した。救急車到着時は全身痙攣しており、首でつかえてストレッチャーに乗せた。病院到着時、38.1℃、ややぼおとするが(JCS)麻痺(-)、顔にやや硬直(+)、(口を動かすに)くい咬舌、モニター装着、KMAIにて検査を開始。頭部CT:異常なし、脳波:異常なし。(24:00頃)37.2℃。不穏となり、眠れないというためモニターはずす。	異-1-28	
211	B06024227	15	年	男性	①異常行動 ②嗜眠	2007/2/8 2/9-2/12 2007/2/13	夕 朝-夕 朝	2007/2/13	午前	x	No	-	No	No	解熱後	No	-	-	No	2007/2/8 インフルエンザA型治療のため、タミフル投与開始(75mg×2日/日~2/13)。 2007/2/11 インフルエンザ軽快・回復。 2007/2/13 (午前)学校で授業中突然歌を歌う。異常行動発現。目標が定まらず(目標が合わない)早退。帰宅後も増悪傾向となり、自宅静養。(JCSで2ケタ以上というわけではない。JCSはほぼ1)。 2007/2/16 (午後)症状悪化したためA病院より紹介。採血、検尿、脳CT異常なし。脳MRI、脳波は途中で異常して最後まで撮れなかったが、撮れた分は異常なし。観察入院。ソルデム3Aの点滴。 2007/2/17 (8:00)自ら抜針し、病院内を興奮して暴れていると報告。父母と相談し、外出一泊とする。 2007/2/18 (午前)病院内にて脳SPECTの検査を行うが、やはり興奮して不可能。父母への暴力行為もあり。再び一泊とする。 2007/2/21 父母に観察の下、登校を開始。 不明 家でテレビをみていると10分もすると「疲れた」というなど、集中力低下が主体となった軽度の症状へ変化してきている。 2007/2/23 略治療とする(本人が病院に戻りたくないと言って聞かない様子)。家では夜間、父母と共に睡眠したが朝にこれまでは全くなし。父母が外出すると「早く帰ってきて」と携帯電話にかかってくる。(これも今では全くなし)ただし、徐々に集中力や複気は回復しつつあるようであるようにも思っている。入院前のテストがあった。 2007/2/28 2/13以降の一連の行動を自覚はじめ、全く覚えていないと言う。この頃より学校の授業を受ける様子が戻ってきて集中力が出てきたと担任より報告あり。 2007/2/28 入試前テストが返却された本人も驚くほど低い点数だったとのこと。2/28~3/1の時点で父母から見ても、全く正常に戻ったと評価している。しばらく、異常行動がみられていたことで、学校で友人に冷たくされていた時期があり、本人もそれに対するショックが今は大きいようだ。父母から確認のMRI、脳波は運送したいと申し出あり。	異-1-93	
212	B06024378	15	年	男性	①異常行動 ②自殺企図	2007/2/17	昼 22:00	①2007/2/18 ②2007/2/18	1:00 7:40	x	No	-	7時間	-	発熱持続	Yes	No	No	-	No	2007/2/17 学校の保健室より「38℃の熱があるので早退させますが、今日病院に連れて行きますか?」と母親へ電話。母親が駅まで迎え、その足でA院へ行きインフルエンザと診断。(昼)タミフル服用。(22:00頃)タミフル服用。 2007/2/18 (1:00)悪夢を見た。暴れた(本人より)。しかし両頬は濡れた姿を見ていない。目がさっさと開けられず、台所へ行って包丁を持った。流し台の前で包丁の刃を自分に向けている姿を母親が発見した。包丁は足元に落とされた。家族には自殺行為に見えたこと(親を刺そうになった)から自分に向けた。ところどころ記憶ある。全ては覚えていない。(7:40)自殺未遂発現。(7:55)救急車へ電話。(8:05)脳神経科救急外来に到着。38.7℃、タミフル中止。(8:40)自殺未遂軽快。異常行動軽快。 (時間不明)体温:39.6℃ 2007/2/19 かりつけのC院来院。体温:38.4℃。	異-1-94

異常な行動

識別番号	年齢 性別	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、就寝 中じゃない×)	発熱直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	意識喪失の 時間	嘔吐 の有無	けい こ	発熱の 経過	意識喪失 の経過	発熱 の有無	意識喪失 の有無	異常な行動 の発現時刻	異常な行動の 具体的な内容	旧資料No			
213	B06026296	15	年	女性	①2007/3/13 ②2007/3/14 ③2007/3/14	18:00	2007/03/14	21:00	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/12 初来院時インフルエンザキットで陽性だったため、プロモックスとPA錠を処方。 2007/3/13 翌日になっても熱が下がらず再来院。その際、インフルエンザと診断し本剤75mg×1日の投与開始。 2007/3/14 (不明)タミフル75mg×1/回投与、(19:00)タミフル75mg×1/回投与、(21:00)夜にけいこ(非重篤)・手の震え(非重篤)が15分続いた。その後眠った。起きてからはそのようなことはなかった。また、夜から発熱が再発。 2007/3/15 翌日には全身に発疹がひろがり他院へ紹介し入院になったため、その後の経過は不明。	不明	異-2-3			
214	B07000065	15	年	女性	異常行動	2007/3/6	22:00	2007/3/7	1:00	○	Yes	2時間半	3時間	Yes	発熱持続	Yes	No	2007/3/6 (10:00)体温38.7℃。(11:30頃)インフルエンザB型治療のため、本剤75mg、カロナール坐薬(200mg)投与。(22:00頃)夕食後タミフル75mg投与。(22:30頃)就寝。 2007/3/7 (1:00頃)眠っていたが、大声を出し突然起き上がりて大声を出し、部屋中をウロウロ走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現(～2:00)。(2:00～5:00)起床し多弁。(5:00)就寝。(11:30)覚醒。異常行動回復。本剤投与中止。 2007/3/10 インフルエンザ軽快・回復	無	異-2-16		
215	B07000078	15	年	男性	①幻覚 ②異常行動	①2007/3/15 ②2007/3/16	①13:30 ②10:00	①2007/3/15 ②2007/3/16	17:00 11:30	-	No	-	-	-	-	-	-	3月15日 17:00異常行動発現:トイレに行くといつて玄関に歩いていったので家族が止めに入った。その後眠った。3月16日 11:30異常行動が発現、トイレで母親が死んだ、怖い人が来ると大声で叫び顔を打ち倒れる。	無	異-2-20		
216	B07000108	15	年	女性	異常行動	2007/3/6	18:30	2007/3/7	1:30	-	-	-	数秒	-	-	Yes	-	-	2007/3/6 (17:00)38.7℃。(夕方)他院に来院。インフルエンザA型陽性。タミフル75mg/日投与開始。 (18:30)タミフル75mg服用。 2007/3/7 (0:30)母親就寝。このころの患者本人の申告として、「何かに追いかけて来ている夢をみた」「2階から飛び降りようとした」。(1:30頃)2階からガラスの窓を叩きあけて、戸外にとびおりた。飛び降りた瞬間に意識が戻った(患者本人の申告)。(3:30頃)自力で自宅に戻り、家人(同居)に連絡(患者本人の申告)。(6:00)当院に救急で搬送。OT(脚)、レントゲン異常みられず帰宅。幸い2階だったため命に別状はなく、怪我もほとんどなかったが、一歩間違えば大惨事になりかねなかった。 2007/3/13 インフルエンザ軽快・回復	なし	異-2-26	
217	B07000259	15	年	男性	異常行動	2007/3/2	20:00	2007/3/3	5:00	○	Yes	8時間	4～5時間	-	-	Yes	No	2007/3/2 (午後)発熱、熱38℃超でB型インフルエンザとキット診断。(20:00)自宅で、食後に本剤75mg×1日の投与。 (21:00)就寝。 2007/03/03 (5:00頃)意識として起床。室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの欄を乗り越え飛び降りようとした為、母親が制止した。『どうしよう』『飛び降りんちゃ』『飛び降りない』など意味不明な発音と喃言が1時間程続いた。(6:00頃)再度意識。(6:00)起床。(8:00)熱37.1℃で意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い状態だった。本剤1回で投与中止。解熱剤等の服薬なし。母親が当院の看護婦という事で、8:00意識は回復と判断した)に当院へ連れて来た。 (8:15)医師が正常と判断。異常行動回復。(午前中)院内で経過観察した。体温は測定せず。	無	異-2-44		
218	B07001356	15	年	男性	異常行動	2007/3/3	-	2007/3/3	-	-	-	-	-	No	Yes	-	-	-	2007/3/3 インフルエンザA型治療のため、タミフル75mg投与前始。薬を飲しが、顔の首を絞めた。異常行動(非重篤)発現。内服を中止し、経過観察のみ。 2007/03/04 異常行動回復。	無	異-3-3	
219	B07001670	15	年	女性	①意識消失 ②異常行動 ③大発作発作	2007/3/19	14:00	2007/3/19	23:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3月19日(23:00)異常行動(風呂場)に行き、浴槽で頭を打ちつける行動発現。少し出血した。父親が止めに入る。失禁も認められる。意識清明まで、5、8分。その後、強直発作10秒認められる。 3月20日(2:30)トイレに行った時に脱力し、意識消失(刺激を与えても反応なし)を起こし、呼びかけに対しては約1分後に回復したが、約10分程度はボーとした状態。	調査不可能	異-3-8	
220	B05021030	16	年	男性	激越	2005/12/27 2005/12/28	22:00 朝	2005/12/28	14:30	×	No	-	2hr	Yes	発熱持続	No	No	No	-	(14:30頃)顔と口腫。異常状態となり、弟を「殺す」自分も「死ぬ」などの発音もあり、弟達が包丁などを全て隠した。その後本人は自宅を飛び出していくも、その後しばらくして自宅に戻った。(自宅を飛び出した時のことは憶えていない)その後解熱し、精神異常。異常行動は見られていない。	無	異-1-35
221	B08025041	16	年	男性	①煩悩 ②異常行動 ③失見当識	2007/2/2～	不明	2007/2/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①感情、自づきがしつかりしない。動作や言葉、ボーっとしている。 ②いきなり立ち上がってボーっとしており、母親が声をかけると「わからへん」と返事。2階で休んでいていきなり起き上がり、階下の電気をつけたが下に降りずにまた消して寝てしまう。普段から食事はそれぞれのおかずをまんべんなく食べるのに、一皿ずつ片付けていくという普段とは違った食べ方をした。 ③学校で自分の席につきなりダウンして、早退を告げずに帰宅。どうやって帰ったのか覚えてない。学校への道順がわからない。	無	異-1-103	
222	B08025191	16	年	男性	躁妄	2007/2/16	昼、不明	2007/2/16	21:45	○	Yes	未記載	15～20分	Yes	発熱持続	No	No	No	-	2007/2/14 当院にて姉がインフルエンザB型と診断され、タミフル処方。同居人が高熱を呈した場合、成人であれば本剤を1錠服用して、医療機関受診を指示。 2007/2/16 当人がインフルエンザ症状(39℃近い発熱)が出たため、量減病棟に処方された本剤を1錠服用。(18:00)当院に来院。簡易検査でB型と診断。本剤処方。(21:45頃)意識障害(せん妄状態)(非重篤)発現(約30分間持続)。(22:00頃)あばれ出すようになったが自室に入った。せん妄状態にも39℃近かった。(時間不明)服に倒れていたところを家族が発見。外傷などはなかったが、中2階から転落した様子で本人は記憶なし。まだ熱が出ているので本剤75mg服用。その後就寝。せん妄状態回復。 2007/2/17 本人、母親が来院。ロキソニン等を処方。(熱38.9℃)	無	異-1-109
223	B08025425	18	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/23	夕方	2007/2/23	夜間	○	Yes	-	Yes	Yes	発熱持続	No	No	No	-	2007/2/23 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg内服。夜間帯、ボーっとした感じでベランダの方に行き帰ってこない。家人が出てみたところ、失踪しており、ベランダ(2F)から飛び降りたものと考え、周辺を捜索した。発見できなかったが、程なく本人が床のまま帰宅し事なきを得た。本人はこの間の事を全く記憶していない。	無	異-1-118

異常な行動

識別番号	年齢 年齢 年齢	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	異常な 行動 発現 時刻	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	異常な 行動 発現 時刻	異常な 行動 発現 時刻	異常な 行動 発現 時刻	異常な 行動 発現 時刻	異常な 行動 発現 時刻	異常な 行動 発現 時刻	異常な 行動 発現 時刻	異常な 行動 発現 時刻	異常な 行動 発現 時刻	異常な 行動 発現 時刻	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たかどうか?)	旧資料No
224	B07000240	18	年 男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/6 2007/3/7	不明	2007/3/7	6:40	○	Yes	-	10~20分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	2007/3/5 (朝)39.2℃。本剤は投与OKです。(9:20)他院から電話でA型Flu、 39.8℃。本剤は投与OKです。J。タミフル75mg×2日/日の投与開始。(9:30)39.8℃。 (夜)39.1℃。 2007/3/7 (朝)タミフル投与。(8:40)異常行動、せん妄状態発現。暴れだし、階段 から飛び降りようとするが、母親がせき止める。(9:00)他院から、「今暴れていて 困る。家で治療へ移送。体温は不明。(9:30)異常行動、せん妄状態回復 (異常でない)。(9:00)当院来院。少く、消えているかとおどしい。郵政検 査。箱に右心部にスライク、蓋にリムン、やや不規則(8ヶ月前の脳波より良好 であった)。点滴リリタT3 500mL、ピタミンB、C、セルシン10mg1回静注。 全く普通になって帰宅。	異-2-42
225	B07003912	18	年 男性	①異常行動 ②疲労	2007/2/24 2007/2/25 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28	夕	2007/2/24	21:00	-	No	-	Yes	Yes	-	-	-	-	No	2007/02/24 インフルエンザA型と診断。本剤75mg×2回/日処方され、夕方より 本剤開始。(21:00)発熱もおさまっていないのに、とにかく走りだしたかたがない 気分となり、家を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない 行動であった。本剤服用後2時間後に出発。発熱39.6℃(寛解時) 2007/02/27熱も下がり、明らかなインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、 食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない、寝ていなくてほ ならないしんどさ(非重篤)が続いた。 2007/02/28 朝、本剤内服後投与終了。 2007/03/07 食欲はあるのに、とにかく寝ていなくてならないしんどさは回復 した。	異-3-24
226	B07005448	18	年 男性	異常行動	2006/12/22 2006/12/23 2006/12/23 2006/12/24 2006/12/25 2006/12/26 2006/12/26 2006/12/28 2006/12/28 2006/12/27	不明	2006/12/23	4:00	○	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	-	-	-	2006/12/22 (8:00)発熱、倦怠感あり。量板(高熱)する。(18:00)半睡から目覚め たら、40℃の発熱あり。(19:00)来院。インフルエンザ確定診断実施。結果:FluB サンプル採取箇所:鼻腔 発症時自覚所見:発熱(40℃)、関節痛、倦怠感 本 剤75mg×2回/日処方。夕方より内服開始。 2006/12/23 (4:00)発熱に起き上がり、靴も履かず寝間着のまま外へ飛び出す。 近くのコンビニへ行く(10分程度)で帰宅(コンビニは特急道路に面しており、夜間でも 交通量がある)。その後再び発熱。(10:00)起床。39℃台の発熱持続。昨夜外 出したことは断片的に記憶あり。 2006/12/28 インフルエンザ 軽快・回復 2006/12/27 本剤内服後投与終了。	異-1-17
227	B04007197	17	年 男性	①幻覚 ②下肢骨折	2004/2/2	不明	2004/2/2	夕方	-	-	-	-	Yes	-	No	No	No	-	2004/2/2 インフルエンザA型と診断。発症時に認められた自覚所見:発熱、 咳嗽、タミフル処方。夕方、自宅2階より道路に飛び降りた為(両下肢骨折)。 救急車にて入院となる。	異-1-17
228	B04008398	17	年 男性	異常行動	2004/2/5	13:30	2004/2/5	15:45	○	-	-	1時間45分	-	-	-	-	-	-	2004/2/3 咳、頭痛発現。 2004/2/4 (15:00)39℃。(夕方)受診。体温:39.3℃。インフルエンザ判別テスト陰 性、インフルエンザ流行のため、シムレール、抗生剤など処方。 2004/2/5 (午前)発熱、頭痛、咳、鼻汁あるも普通に朝食とれた。午前本院受 診。体温:38.6℃。インフルエンザ判別テストA型(+),B型(-)。点滴中はマンガの 本を読む。父が迎えに来院。本剤を夕食後に服用し、シムレールは中止する 旨、本人に伝える。(13:30)父と一緒に朝食をとり、本剤内服。いつもと変化はな い。(14:00~)自宅で留守番しながら寝る。 2004/2/5 (15:45頃)突然、素足で裏口から自宅を(奮闘していた)飛び出し、1m 以上のコンクリートべいを飛び越え雑踏を横断し、園道のガードレールも越え、 走ってきたトラックに身を投じた。救急で他院へ搬送されるも胸部外傷による ショック死と診断される。	異-1-18
229	B05021111	17	年 男性	妄想	2004/1/22	夕方	2004/1/22	夜	-	-	-	-	Yes	発熱持続	-	-	-	-	2004/1/22 A型インフルエンザ治療のため本剤投与開始(150mg/日 ~1/28)。 夜、家人を見て「怖い、怖い」とベランダから下げるような行動をとり、救急外来 を受診。発熱妄想と言われ帰宅。OT、EEGは異常なし。妄想発現(非重篤)。 2004/01/23 妄想回復。	異-1-38
230	B07000087	17	年 男性	①異常行動 ②意識全喪 ③舌の麻痺	2007/3/20	13:00	2007/3/20	18:00	×	Yes	-	約3.5時間	Yes	-	No	No	No	-	・洗面台の上に立ち上がり、自給すると20分程叫ぶ。 ・その後、リビングを駆け回る。ピョンピョン跳ぶ。 ・「もうダメだ、どうにもならない、外に出ない」と異常。	異-2-22
231	B07004078	17	年 男性	異常行動	2005/11/28 2005/11/29 2005/11/29 2005/11/30 2005/11/30 2005/12/01 2005/12/01 2005/12/02 2005/12/02 2005/12/03	不明	2005/11/28	21:30	○	Yes	-	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	2005/11/28 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(10:05/11/29(夜) 突然動き回り、ドアやベランダから外に出ようとする。本人に「どうしたのか」と尋 ねると「大丈夫」としかかった口調で答えるし、意識もはっきりしているが、どう しても外に出ようとする。マンションBのベランダに出た時は飛び降りようとした ので、母親が必死に止めたので事なきを得たが、その時口では「大丈夫」と言っ ていた。 2005/11/29 異常行動回復。	異-3-28
232	B05025437	18	年 男性	異常行動	2006/1/11	10:00, 18:30	2006/1/11	21:00	○	Yes	-	-	-	-	No	-	-	-	2006/1/10 (夜より)発熱。 2006/1/11 (10:00)学校早退し初診。39.1℃。インフルエンザAにて本剤処方。帰 宅後タミフル(75mg)内服。(18:30)タミフル(75mg)内服。(21:00)突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分 後に戻る。その間全く記憶なし。異常行動発現。 2006/1/12 (10:00)38.7℃。外来受診。本剤内服中止(本剤以外は続行)、異常 行動回復。 2006/1/14 インフルエンザ軽快・回復。	異-1-88
233	B06028848	18	年 女性	①転倒 ②自傷行動	2007/3/23	朝	2007/3/25	朝	×	-	-	-	-	解熱過程	Yes	-	-	-	廊下より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになった。薬頭、2階の窓より 飛び降りて胸椎を圧迫骨折。診断は胸椎第一-第二骨折及び頸椎第一-第二 -第三圧迫骨折。入院後、母は手首のリストラットの権に気づいた。	異-2-12
234	B07013137	18	年 男性	異常行動	2007/3/13 2007/3/14	夕	2007/3/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 本剤投与し、外に飛び出る異常行動発現。 2007/3/13 (夕)A型インフルエンザ(体温39.2℃)に対して、本剤の投与を開始。 2007/3/14 家から飛び出た。本は何故家から出たかの記憶がない。 走って飛び出たのか、歩いて出たのかも不明で、気が付いたら外にいたとの 事。本剤の投与を中止。 2007/3/15 解熱し、異常は認めなかった。異常行動は回復。	異-3-28

異常な行動

識別番号	年齢 性別	年齢 職業	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中ではない:×)	発熱 発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	発熱 発現	意識 障害	嘔吐	腹痛	頭痛	呼吸器 系	循環器 系	泌尿器 系	他	薬剤 服用	異常な行動の 具体的な内容	備考	旧資料No
235	B07013370	18 年 男性	異常行動		不明	-	-	-	-	Yes	-	No	No	No	No	No	No	No	無	不明(夕型インフルエンザに対して、本剤75mg内服。本剤初回投与2時間後、異常行動発現(非重篤)。暴れて外に飛び出そうとしたところを父親が確保。投与2日目(夕)本剤75mg内服。本剤初回投与後も暴れるが、父親が確保。投与3日目(朝)本剤75mg内服。本剤初回投与時には症状は発現しなかった。(夕)本剤75mg内服。本剤3日間服用し、インフルエンザ症状は回復。2回の異常行動について本人の記憶はなかった。		
236	B05022154	18 年 男性	①落ち好きのなさ ②暴怒		2006/1/11	12:30	2006/1/11	16:00	-	Yes	-	3-4分	Yes	-	No	No	No	No	No	無	突然覚醒し、大声を出し、不審、興奮状態でドアをこぎしで叩き壊し、扉を破り、テレビを割る騒動があった。この3-4分間の出来事とその後正気に戻り、家人が出血した両手甲部の処置を行い、落ち着いた状況となった。	異-1-40
237	B06005344	19 年 女性	①健忘 ②自傷行動		2006/2/1-2/5	朝・夕	2006/2/5	0:00	×	No	-	5時間以内	Yes	-	No	No	No	No	No	無	インフルエンザ発症時に認められた自他覚所見:発熱(37.7°C)、頭痛、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、しゅみ)、倦怠感 2006/2/1 A型インフルエンザ治療の為、タミフル75mg×2/日の投与開始(確定診断未実施)。(午後)受診後、高熱。 2006/2/5 (0:00頃)友人と時間位電話で話をしたが、電話したことも内容も憶えていない。自傷行為(リストカット)(非重篤)、記憶消失(非重篤)が発現。(午前1:00頃)就寝。(午前5:00頃)目覚めると左手首の切り傷に気付いたが、切ったことも憶えていない。自傷行動(リストカット)、記憶消失は回復。その後再発なし。 2006/2/6 インフルエンザの転帰:軽快	異-1-64
238	B07007066	18 年 男性	異常行動		2007/5/17	20:30	2007/5/17	21:30	○	Yes	-	No	発熱持続	-	-	-	-	-	No	無	2007/5/16 (昼頃)発熱、咳、鼻汁の症状があった。 2007/5/17 (18:10)当院救急外来受診。その後の検査で、インフルエンザ(A型)と診断。発症時に認められた自他覚所見:発熱37.9°C、咳、鼻症状(鼻水、鼻づまり、しゅみ)(20:30頃)当院で本剤75mg×1/日、カロナール200mg×1/日(発熱時服用)を服用し帰宅した。(21:30頃)夕食と食べたが、その時すでに食事をこぼしたり、うっすらで状態がおどろしかったと訴える。異常行動発現。 2007/5/18 (0:30頃)就寝しておどろきおどろきと訴え、異常行動発現。 2007/5/18 (1:37)母等の通報で当院に救急車で搬送された。経過観察が必要と判断し入院となった。(本人は前後の異常行動を全く覚えていない)入院後は経過観察のみ。(19:00)問題なし。退院。異常行動軽快。 2007/5/20 当院外来受診。発熱37.9°C、咽頭痛はあるが、症状は軽快しその後の異常行動はなかった。インフルエンザ軽快・回復。	異-1-45
239	B05023219	20 年 男性	躁鬱		2006/01/21 1/22-25 1/26	夕 朝・夕 朝	2006/01/22 2006/01/23 2006/01/24 2006/01/25 2006/01/26	- - - - -	-	No	-	No	No	解熱過程	Yes	No	No	-	No	無	1/22、23、夜、全く眠くならず、ゲームが楽しくて仕方なかった。横のようにもソワソワして寝付けなかった。 1/24:攻撃的になり、家人に暴言を吐いた。 1/25:急に立って親戚の家に逃げたり、歩き回ったりした。色々な考えが頭の中をぐるぐる回っている感じがした。遠慮の内容も頭に入らなかった。 1/26:機を賣おうと思いつき、銀行に行つたが話が進まなかった。 2007/2/4 (11:25)救急外来受診。昨日より鼻汁が出た。本日起床時より、悪寒、関節痛が出現。BT:38.8°C、鼻汁(+)、咳嗽(-)、咽痛(+)、頸部リンパ(腫脹(-))、インフルエンザA型治療の為、タミフル75mg×1/日投与開始。 2007/2/5 (1:52)異常行動。過換気症候群発現(非重篤)。横のようにして急に不安になって、叫びだしたりしたため救急外来受診。意識清明。座れなく立って動いている状態。右手のしびれがある他は神経学的所見(-)。BP:168/96、BT:35.9°C、paper bagにて加療。(7:00)約5時間睡眠後、症状落ち着いた。異常行動軽快。過換気症候群回復。安定剤希望。カームダン錠0.4mg 1T 1回分。(8:58)症状落ち着いた。咽頭発赤(+)、心音、呼吸音正常。 CRP定量:6.8、WBC:97.1×10 <sup>2</sup> /μL。本剤は中止、カロナール錠200mg 2T 1×頓4回分処方。	異-1-45
240	B06022661	20 年 男性	①異常行動 ②過換気		2007/2/4	不明	2007/2/5	1:52	×	No	-	5時間	Yes	解熱過程	No	-	-	-	No	不明	2007/2/4 (11:25)救急外来受診。昨日より鼻汁が出た。本日起床時より、悪寒、関節痛が出現。BT:38.8°C、鼻汁(+)、咳嗽(-)、咽痛(+)、頸部リンパ(腫脹(-))、インフルエンザA型治療の為、タミフル75mg×1/日投与開始。 2007/2/5 (1:52)異常行動。過換気症候群発現(非重篤)。横のようにして急に不安になって、叫びだしたりしたため救急外来受診。意識清明。座れなく立って動いている状態。右手のしびれがある他は神経学的所見(-)。BP:168/96、BT:35.9°C、paper bagにて加療。(7:00)約5時間睡眠後、症状落ち着いた。異常行動軽快。過換気症候群回復。安定剤希望。カームダン錠0.4mg 1T 1回分。(8:58)症状落ち着いた。咽頭発赤(+)、心音、呼吸音正常。 CRP定量:6.8、WBC:97.1×10 <sup>2</sup> /μL。本剤は中止、カロナール錠200mg 2T 1×頓4回分処方。	異-1-90
241	B07013249	20 年 女性	躁鬱 異常行動		2007/4/2	16:40	2007/4/2	服用後、数時間	-	-	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	無	2007/4/2 16:30頃 母親が笑局。患者は高熱(39.5°C)のため薬の中に入っていた。A型インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。帰宅後すぐに夕方の分として本剤とカロナールの服用を指示。16:40頃には服用したと考えられる。服用後、数時間でおどろき、フラフラと無意識に歩行。(この段階では高熱状態継続) 2007/4/3 母親、患者の判断により、本剤の投与を中止。熱はほぼ平熱に低下。本剤、カロナール以外の薬を投与継続。午前中に、処方医受診。昨晩の症状・行動について連絡。セフトンカプセル100mg3cp、3×ndE 4TD処方追加と診断。異常行動は回復。 2007/4/9 インフルエンザ完治を確認。	
242	B07003477	23 年 男性	異常行動		2007/1/24	不明	2007/1/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	統合失調症(疑い)	他院にて処方(レミン(20)、リスパダール(2)、アキネトン(1)、ベタネミン、ベシザリン(10)、ナグレート、ロヒプノール(2)) 2004/01/24 (午前中)高熱38°C(インフルエンザ)にて当院来院。インフルエンザ検査にて、A型インフルエンザと診断。シタグリル2T 2×3T、ムコソルバン、フロモックス、ムコスタ3T、カロナール(頓用)10T 1T/回処方。精神薬を服用している。シタグリルから本剤に変更する。(精神神経症候群)について十分な説明の後、本剤10cp服用するように指導され処方する。帰宅し本剤75mg×1/日服用後、自宅マンション6階から飛び降りる。患者は一命を取り留めるが、現在身体障害者となっている。 〔患者情報〕もともと熱を出すやフラフラする体質で、異常行動を起こす前にもめまい等起こしている。	異-3-20
243	B07013331	23 年 男性	異常行動		2007/2/10	2007/2/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2007/2/10 インフルエンザ陽性に対して、本剤の投与を開始。投与前5-6時間後(夕方)に急に玄関に飛び出し、玄関前にてぼーっと立ってぼんやりしている所を親が発見した。その後意識は回復した。患者はその事を覚えていないとのこと。	
244	B07003186	24 年 女性	①異常行動 ②感情不安定		2007/4/17 2007/4/18	朝 夕	2007/4/18	23:00	-	No	-	2-3時間くらい	Yes	解熱過程	Yes	No	-	-	-	不明	4月18日(23:00)異常行動。感情失調発現。 吐き気あり。気分が高揚し、走り出したい気分となり、何をみても笑いが止まらない状態となった。自制しようとする意識もあるが、走り出した自分を止められず(自覚症状あり)、部屋の中で我慢していたが、1階に下りて母親に「助けて」と訴える。 4月19日(0:00)母親に連れられて来院。その後、大声で笑いがとまらない。そのうち笑いが止まらないことに対して泣き始めた(1:30まで)。異常興奮多少ありなげ救急車にきたかわからない。入院。入院後も泣き続けていた。 (6:00頃)ほぼ元通りの人物に戻った。	異-3-19 177

異常な行動

識別番号	年齢 歳	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	発熱 あり	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	自覚 あり	意識 あり	嘔吐	下痢	腹痛	頭痛	めまい	眩暈	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見たように感じたのか?)	旧資料No		
245	B08025318	26	年	男性	自殺企図	2006/1/20	不明	2006/1/20 2006/1/21	23:30~24:30 夜中	○	Yes	約2時間後	10分 約2時間後 に再び異常 行動。程度 は、持続 時間は10分 程度	No	発熱持続	Yes	No	No	No	2006/1/20 インフルエンザ治療の為、タミフル75mg×2/日処方。(0:00)38℃に てボルタレン坐剤使用(本院処方ではない本人手持ち)。タミフル75mg服用後(1 回目)、異常行動(自殺企図)発現。夜中に起床し玄關をでて、マンションの通り 廊下(雑がき)に登ろうとしたため、最寄りの奥棟が止めたところ、何かに当たられ 倒れた様子でお前に申し訳ない、死んでから謝ろうと思ったということを発表。 異常行動は10分程度。落ちついてから行動を正すと、自分が行った行動の記 憶があるとの事。当時不安になるおきなわは全く無し。(8:00)38.6℃ 2006/1/21 約2時間後に再び異常行動。程度は不明。持続時間は10分程度。 2003/1/03 体温:39.5℃。咳、咽頭痛、下痢症状あり。精神状態は特に異常な し。インフルエンザと診断。(20時頃) タミフル(75mg)1Cap、ケツリッド(200mg)1Tab、タマケビ1Cap、ビオエ ルシホ2Tab、服用。(20時10分頃)気分沈滞あり。頭の血管が切れるような感じ、何 をするか分からない(例えは汚物を振り回すかも知れない)感じがして、妻子に 遠くに離れてほしいと言った。玄關の辺りで、7をけいとばしていたが、 その後離れては(7)探検。妻が行った時、妻は驚いてお返事した。この頃、 顔んでいた救急車が来て病院へ搬送。到着時はかなり落着いていた。輸液など うけて、1時間後には帰宅。(他院における追跡調査不可。以上は翌4日に電 話通話時の話)その後、症状回復。以後の本剤投与は中止。	異-1-13
246	B0300189	28	年	男性	気分変動	2003/1/3	20:00	2003/1/3	20:10	×	No	-	2~3時間	Yes	-	Yes	-	-	No	2003/1/3 3月28日本剤投与前。 3月31日(午後)眠ていきなり起き上がり、包丁を構つ。 4月1日(午後)眠ていきなり飛び起きて、外に出て道路に飛び出した。以後も ボーとした感じが続き、夕食後分のタミフルから内服中止とした。インフルエンザ 疑性。 4月2日以後徐々に意識清明となってきた。 4月3日異常行動回復。	異-1-14
247	B07001888	30	年	男性	異常行動	2007/3/28 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/31 2007/4/1	不明	2007/3/31	午後	○	Yes	-	No	-	-	No	No	No	2007/2/22 (18:00)発熱のため、当院受診。インフルエンザA型と診断。タミフル (75mg)2cap、分2、5日処方。(20:00)タミフル75mg服用。発熱著明。(21:00)就 寝。(0:00)何とも思えない様な気持。動悸等があり、不穏状態となる。ベランダ のある部屋に行き、電燈を覆い、窓と入り口の扉をきつ戻りつけて、結局、ベ ランダに出て地上に落下。(騒乱状態になり、自宅の2階から飛び降りて足を骨 折)の間、気分悪化もあるも制御できず。転落後意識清明となり、救急病院を受 診。左足親指骨折あり入院となった。入院後意識清明、不穏行動なし。 入院時には高熱はなかったと聞いた。発熱時から内服薬として処方したロキソ ニン薬を服用したかどうかは不明。この日意識は良かった。 2007/2/23 (0:27)骨折のため他院へ。その際意識もはっきりして、体温も 36℃台であったと当日当直の医師談。 2007/2/27 右足骨折。手の怪我のため、整形外科で手術。 2007/3/01 入院中。意識レベルは正常。異常行動回復。 2007/3/8 手術。 2007/03/14 退院。	異-3-8	
248	B08025192	32	年	男性	異常行動	2007/2/22	20:00	2007/2/22	24:00	○	-	3時間後	行動直後	Yes	-	Yes	-	-	No	2007/2/22 (18:00)発熱のため、当院受診。インフルエンザA型と診断。タミフル (75mg)2cap、分2、5日処方。(20:00)タミフル75mg服用。発熱著明。(21:00)就 寝。(0:00)何とも思えない様な気持。動悸等があり、不穏状態となる。ベランダ のある部屋に行き、電燈を覆い、窓と入り口の扉をきつ戻りつけて、結局、ベ ランダに出て地上に落下。(騒乱状態になり、自宅の2階から飛び降りて足を骨 折)の間、気分悪化もあるも制御できず。転落後意識清明となり、救急病院を受 診。左足親指骨折あり入院となった。入院後意識清明、不穏行動なし。 入院時には高熱はなかったと聞いた。発熱時から内服薬として処方したロキソ ニン薬を服用したかどうかは不明。この日意識は良かった。 2007/2/23 (0:27)骨折のため他院へ。その際意識もはっきりして、体温も 36℃台であったと当日当直の医師談。 2007/2/27 右足骨折。手の怪我のため、整形外科で手術。 2007/3/01 入院中。意識レベルは正常。異常行動回復。 2007/3/8 手術。 2007/03/14 退院。	異-1-110
249	B08026829	32	年	女性	①頭痛 ②健忘 ③腹痛 ④嘔吐 ⑤意識消失	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13	10:00 18:00 朝	2007/3/12	22:00~翌8:00	○	Yes	-	3時間	Yes	-	No	No	No	2007/3/3 意識のインフルエンザ陽性の子供と接触。 2007/3/8 咽頭痛、鼻水、咳等の症状始まっている。 2007/3/11 発熱38.5℃。市販のツムラ葛根湯液服用。 2007/3/12 当院初診。受診時症状:全身倦怠、全身痛、関節痛、食欲不振、体 温37.1℃、インフルエンザA型と診断。点滴:ソリタ3 200mL+VC500mg+オパ ン1A+ピタファン(25)1A+リンコン300mg。(10:00頃)点滴終了後、タミフル1カ セル服用。(17:00~21:00)就寝。(18:00頃)タミフル1カセル服用。 (22:00頃)目覚めて、次に気がついた時はトイレに坐っていた。布団からトイレに 行った間の行動の自覚なし(無意識状態)。意識消失または一過性健忘発現。そ の後、ほぼ3時間毎に自覚した(3回)が、これらは全部行動がわかつた。 2007/3/13 (8:00頃)意識消失または一過性健忘回復。本剤服用。起床時より右 足関節部が歩けないくらい痛んだ。足関節痛(非重篤)発現。その後、強い腹痛 (動かすとガンガンする、非重篤)、腰痛(非重篤)、フワフワする感覚があり、こ の症状は1日中続いたので夕方タミフルは服用せず。(20:00頃)夜になって入 浴した時、異常な脱毛(通常よりも多いと感じた)を認めた。しかし初診時の 全身症状は軽快したようだ。 2007/3/14 (20:00頃)脱毛軽快。 2007/3/15 頭痛(非重篤)、腰痛(非重篤)軽快。 2007/3/16 右足関節痛(非重篤)で整形外科受診するも骨X線異常なし。 2007/3/18 脱毛症状なし、神経症状等なし。足関節痛は特に朝方強く感じ る。足関節痛(非重篤)未回復。インフルエンザ疑性。回復。	異-2-7	
250	B07013314	32	年	女性	幻覚	2007/3/30 2007/4/1		2007/3/30	夜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/30 インフルエンザに対して(体温38~40℃)で、本剤75mgを内服開 始。 2007/3/30 (夜)幻覚がみられた。(階段をかけた下りる。) 2007/4/1 口内炎が発現。 2007/4/1 本剤の投与を中止。 2007/4/5 幻覚は回復、口内炎は軽快した。 2003/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル150mg/日(分2)を朝より投与開 始。 2003/1/23 (0:00)不眠、不安が発現し来院。夜の服用にて本剤投与を中止。 2003/1/24 (10:00) 幻覚が発現。家族を困らせた。来院日中も興奮状態。アロ ファルム5mg投与前投与開始。 2003/1/26 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消滅。 2003/1/31 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は回復。 2003/02/08 アロファルム投与終了。	異-1-11	
251	B03000831	35	年	女性	①知覚過敏 ②不安 ③不眠症 ④健忘 ⑤幻覚	2003/1/21 ~1/22	不明	①2003/1/24 ②2003/1/23 ③2003/1/23 ④2003/1/24 ⑤2003/1/24	①日中 ②0:00 ③0:00 ④日中 ⑤10:00	-	-	-	-	No	発熱持続	Yes	No	No	No	2003/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル150mg/日(分2)を朝より投与開 始。 2003/1/23 (0:00)不眠、不安が発現し来院。夜の服用にて本剤投与を中止。 2003/1/24 (10:00) 幻覚が発現。家族を困らせた。来院日中も興奮状態。アロ ファルム5mg投与前投与開始。 2003/1/26 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消滅。 2003/1/31 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は回復。 2003/02/08 アロファルム投与終了。	異-1-11

異常な行動

識別番号	年齢 性別	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	意識 障害 あり なし	就寝中の場合 就寝時刻から発 現までの時間	目覚めの 時間	目覚め 時の 意識	経過	異常の 経過	発熱 あり なし	頭痛 あり なし	嘔吐 あり なし	下痢 あり なし	その他 異常な 行動の 経過	他の 薬剤 の 服用	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよとどきとどきか?)	旧資料No
252	B06028663	35	年 女性	不思議の国のアリス症候 群	①2007/3/15② 2007/3/15 ②2007/3/16 ②2007/3/18 ②2007/3/17	①投与後比較 的早く ②18:00	×	No	—	30~50分	No	—	Yes	No	No	No	No	No	ウイルス性肺炎	異-2-9	
253	B06026707	45	年 男性	意識レベルの低下	2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1	18:00 23:00 不明 不明 不明 不明 不明	×	No	—	—	解熱後	No	No	No	No	No	No	No	不明	異-2-10	
254	B07000244	48	年 女性	錯乱状態	不明	①②2007/3/20 ③2007/3/20~ 3/21 ④2007/3/21	—	—	—	No	No	解熱過程	Yes	—	—	—	—	—	—	無	異-2-43
255	B06004488	49	年 男性	死亡	2006/2/17 2006/2/18 2006/2/18 2006/2/18 2006/2/18 (19日の夜は 不明)	夜 新 夜 朝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	異-1-124
256	B06026847	49	年 男性	自殺企図	2007/02	不明	2007/02	船方1週間後	○	Yes	—	No	Yes	解熱過程	No	Yes	No	No	No	(頸動脈血栓症)	異-2-11
257	B05025724	51	年 男性	①自殺企図 ②精神症状	2006/3/7	19:00	①2006/3/8 ②本剤内服前	①8:30 ②未記載	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①、②無	異-1-79
258	B07000284	51	年 男性	意識レベルの低下	2007/2/6	夕	2007/2/8 2007/2/7	19:30 2:00	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	異-2-48
259	B07000076	54	年 男性	①昏妄 ②腎不全 ③異常行動	2007/3/22 2007/3/24	15:00 朝	2007/3/22 2007/3/24	夜 朝	×	Yes	—	30分	No	発熱持続	No	No	No	No	No	無	異-2-78
260	B05020017	58	年 男性	精神症状	2005/2/18~ 2/21	1日2回	2005/2/21	服用から2hr後	—	No	—	—	Yes	解熱後	Yes	No	—	No	No	不明	異-1-33

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	意識 レベル	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	発 現 時 間	目 撃 者	解 熱 薬	解 熱 薬	解 熱 薬	解 熱 薬	解 熱 薬	解 熱 薬	解 熱 薬	解 熱 薬	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見たか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたかと言っているのか?)	旧資料No	
261	805024386	58	年	男性	①意識レベルの低下 ②呼吸困難	2006/01/28 2006/01/28 2006/01/28	夕食後 就寝前 不明	2006/01/28	AM5:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2006/1/28 送病にてインフルエンザA型の診断を受け、本剤を処方。夕食後と寝る前に1capずつ内服。 2006/1/29 (3:00)本人の記憶あり、(5:00)呼吸者出現。家人が声をかけたが、振り払い逃げたため自然療養へ帰還。意識障害発現(非重篤)、(6:45)当院救急外来受診。来院後、意識が戻りそこから記憶があり、知覚を行って経過観察目的で入院。以後は本剤を中止し、経過観察。意識レベルは回復し、呼吸者も消失。炎症反応も回復した。 2006/1/30 (午前)意識障害回復。意識レベル回復なし。その後も意識障害者発現なし。 2006/2/1 インフルエンザ軽快。 2006/2/3 療養退院。	異-1-58	
262	807000263	58	年	男性	意識障害伏見 肺炎	2007/3/12 2007/3/12	13:00 19:00	2007/3/13	7:00	×	Yes	-	20時間	No	解熱薬	No	-	-	-	No	2007/2/14 インフルエンザ治療のため、他院で処方されたタミフル投与開始(75mg×2日)、異常行動発現。本人に記憶はないが、患者の家族から見ると明らかに異常な行動を示していた。本剤投与中止。 2007/2/19 症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。 (2006/2/18)日中、ぼんやりして立ちつくす。反応が鈍い。 夜、不眠、じっとしていられず動き回る。 (2006/2/24)落ち着かない様子あり。 (2006/2/28)「死にたい」、「殺してくれ」と言い、落ち着かない。 (2006/3/1 午前)体調不良を訴える。ボーとしているが、落ち着かない。 (2006/3/1 17:00過ぎ)近所の家の玄関に灯油をまき、自殺するつもりで、マッチで火をつけた。すぐに消火され、ボヤですんだ。 (2007/3/22)現在、軽快は回復されている。	無
263	808025002	59	年	男性	異常行動	2007/2/14	不明	2007/2/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/14 インフルエンザ治療のため、他院で処方されたタミフル投与開始(75mg×2日)、異常行動発現。本人に記憶はないが、患者の家族から見ると明らかに異常な行動を示していた。本剤投与中止。 2007/2/19 症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。 (2006/2/18)日中、ぼんやりして立ちつくす。反応が鈍い。 夜、不眠、じっとしていられず動き回る。 (2006/2/24)落ち着かない様子あり。 (2006/2/28)「死にたい」、「殺してくれ」と言い、落ち着かない。 (2006/3/1 午前)体調不良を訴える。ボーとしているが、落ち着かない。 (2006/3/1 17:00過ぎ)近所の家の玄関に灯油をまき、自殺するつもりで、マッチで火をつけた。すぐに消火され、ボヤですんだ。 (2007/3/22)現在、軽快は回復されている。	不明	
264	808025118	64	年	男性	精神状態悪化	2006/2/17 2/18~2/19	夕 朝・夕	2006/2/18	日中	-	-	-	No	No	-	Yes	-	-	-	No	2007/2/14 インフルエンザ治療のため、他院で処方されたタミフル投与開始(75mg×2日)、異常行動発現。本人に記憶はないが、患者の家族から見ると明らかに異常な行動を示していた。本剤投与中止。 2007/2/19 症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。 (2006/2/18)日中、ぼんやりして立ちつくす。反応が鈍い。 夜、不眠、じっとしていられず動き回る。 (2006/2/24)落ち着かない様子あり。 (2006/2/28)「死にたい」、「殺してくれ」と言い、落ち着かない。 (2006/3/1 午前)体調不良を訴える。ボーとしているが、落ち着かない。 (2006/3/1 17:00過ぎ)近所の家の玄関に灯油をまき、自殺するつもりで、マッチで火をつけた。すぐに消火され、ボヤですんだ。 (2007/3/22)現在、軽快は回復されている。	自殺企図
265	805018850	87	年	女性	劇症肝炎	2005/11/10 2005/11/11 2005/11/12 2005/11/13 2005/11/14	不明、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00 8:00、18:00	2005/11/18 2005/11/19	夜	-	-	-	No	No	解熱薬	No	No	No	No	2005/11/8 インフルエンザワクチン接種。 2005/11/9 発熱(39.8℃)、咽頭痛(+)、悪寒しき(+) 2005/11/10 受診。インフルエンザの疑いで本剤の投与を開始(150mg/日 ~11/14)。 2005/11/14 他科受診。X-P正常、熱(-)、便秘(+)、HGV(-)、HBeAg(-) 2005/11/15 急性肝炎(劇)入院。黄疸(+)、血中アンモニア:188、APTT:48.7秒、プロトロンビン時間:21.8秒、HA抗体-IgM(-)。全身倦怠感、黄疸、肝不全発現。入院。 2005/11/18 夜間、時おり意味不明音動あり。 2005/11/17 全身黄染著明、水様便多量。 2005/11/18 全身倦怠感継続。 2005/11/19 ベッドより飛び降りたり、大声で叫んだりする。血漿交換のために一時他院へ転院。 2005/12/28 当院へ帰院。 2006/01/27 退院。	うつ病	
266	808001534	71	年	男性	①平衡障害 ②異常行動	2006/4/1	①15:00 ②20:00	2006/4/1	①17:00 ②22:00	×	-	2時間	少なくとも8 時間以内	-	解熱薬	No	No	No	No	-	①(17:00)覚醒後、自動車を運転。両側の車より音がまっすぐ走らない、方向感覚がおかしい、電柱に車をぶつける、車庫に車をうまく駐車できない、自宅に戻るも不安定で座位がとれないとのこと。 (20:00)本剤75mgを服用。 (22:00)覚醒。平衡障害回復(持続時間:5時間)。 ②2006/04/01 (22:00)覚醒。突然、田植えをしている動作あり、家人が話しかけると「田植えをしている」と、また、ほうきをはいている動作をするなどの異常行動が見られた。 2006/04/02 (22:00)異常行動回復(持続時間:24時間)。 2006/2/28 気管支喘息のため入院。 2006/3/2 プレドニゾン30mg開始。(15:00)点滴終了。ジスロマック処方される。食欲低下続く。夕食摂取できず。 (18:00)38.5℃の発熱。発熱もあり。クーリング施行。(21:00)KT:38.5 ナイロ5.5g頓服服用。嘔吐、呼吸者もあり、酸素経鼻で1L開始。SpO2:91%。(21:30)インフルエンザA型にてタミフル75mg×2回/日処方。75mg服用。(〜3/7朝)アミノフィリン18mL(400mg)で開始。 2006/3/3 プレドニゾン20mgへ、食欲低下続く。1割ほど摂取。下肢の痛み、関節痛、背部痛は軽減。(8:00)KT:37.2 (20:00)KT:37.2 2006/3/8 食事摂取は1~3割。酸素は少しが、発熱なし。(8:00)38.7、(20:00)37.2、(23:00)37.2。部屋からでてようとしているが、点滴が「ア」にはまっまっている。ナースが付き添いトイレへ、暫くして見に行くところ「間にかわなくて」とズボン洗っている。夜間せん妄(非重篤)発現。 2006/3/7 (8:00)昨日は普通になり夢遊者みたいにおしっこを漏らしてしまい着替えようと思ったら、シャツをズボンに履いていた。床にうずくまって泣いていた。今はしっかりしている。食欲低下はまだあるため3~5割ほど摂取。プレドニゾン10mgへ。以後症状なし。夜間せん妄回復。(10:00)KT:38.3、(20:00)KT:38.3、2006/3/8 インフルエンザ回復。退院される。	異-1-83
267	806017551	71	年	女性	肺炎	①2006/3/2 3/3~3/6 ②2006/3/7	①21:30 朝・夕 ②夕方	①2006/3/6 ②23:00	-	No	-	約1時間	30分~1時間	Yes	-	Yes	-	-	-	-	2006/2/28 気管支喘息のため入院。 2006/3/2 プレドニゾン30mg開始。(15:00)点滴終了。ジスロマック処方される。食欲低下続く。夕食摂取できず。 (18:00)38.5℃の発熱。発熱もあり。クーリング施行。(21:00)KT:38.5 ナイロ5.5g頓服服用。嘔吐、呼吸者もあり、酸素経鼻で1L開始。SpO2:91%。(21:30)インフルエンザA型にてタミフル75mg×2回/日処方。75mg服用。(〜3/7朝)アミノフィリン18mL(400mg)で開始。 2006/3/3 プレドニゾン20mgへ、食欲低下続く。1割ほど摂取。下肢の痛み、関節痛、背部痛は軽減。(8:00)KT:37.2 (20:00)KT:37.2 2006/3/8 食事摂取は1~3割。酸素は少しが、発熱なし。(8:00)38.7、(20:00)37.2、(23:00)37.2。部屋からでてようとしているが、点滴が「ア」にはまっまっている。ナースが付き添いトイレへ、暫くして見に行くところ「間にかわなくて」とズボン洗っている。夜間せん妄(非重篤)発現。 2006/3/7 (8:00)昨日は普通になり夢遊者みたいにおしっこを漏らしてしまい着替えようと思ったら、シャツをズボンに履いていた。床にうずくまって泣いていた。今はしっかりしている。食欲低下はまだあるため3~5割ほど摂取。プレドニゾン10mgへ。以後症状なし。夜間せん妄回復。(10:00)KT:38.3、(20:00)KT:38.3、2006/3/8 インフルエンザ回復。退院される。	無
268	805000892	72	年	男性	①直覺 ②意識レベルの低下	2005/2/25 ~2/28	1日2回	2005/2/28	22:40	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2005/2/25 インフルエンザB型と診断。タミフル150mg/日、PA錠 3錠/日、カロナール600mg/日投与開始。 2005/2/28 (22:40)突然大きなびきと共にふらふらした。(23:00)救急車で来院。意識障害を認め、ホリゾンIV、CT、血液検査施行。CT:正常。タミフルおよび併用薬投与中止。 2005/3/1 (1:00)病棟へ入院。(4:00)意識。全身間代性発作発現。(4:0)発作消失。高CK血症、GOT、LDH上昇あり。補液(ブドウ糖F1000mL(〜3/6)、アミノフリード500mL(〜3/3))施行。 2005/3/2 (8:15)意識レベル清明。 2005/3/8 意識、意識障害回復。退院。	無	

異常な行動

識別番号	年齢 年齢 数値	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒後 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復まで の時間	発熱	意識障害	嘔吐	腹痛	尿意の抑制	排便の抑制	排尿の抑制	他剤による 副作用	異常な行動の 詳細	旧資料No		
268	B05000875	72	年 男性	観望	2005/2/9 12:20 21:00 2/10~2/12 1日2回	2005/2/9	21:05	×	No	-	9分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	異-1-27	
270	B05024268	74	年 不明	①異常行動 ②大興奮折 ③幻覚	2008/2/8~ 2/10	朝-夕	2/10 2/11~12	朝 夜間~未明	×	No	-	No	No	解熱過程	No	No	No	No	No	不明	異-1-56
271	B02013397	79	年 女性	①落ち着きのなさ ②妄想	2003/1/2~1/8	1日2回	2003/1/4	1:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	抑うつ神経症	異-1-5	
272	B08016883	83	年 男性	観望	2006/1/9 2006/1/9 2006/1/10 2006/1/10 2006/1/11	朝 晩 朝 晩 朝	2006/1/10	10:00	×	No	-	34時間	No	発熱時のみ 数回あり	-	-	-	-	-	無	異-1-88
273	B06025119	83	年 男性	異常行動	2007/2/7	朝	2007/2/7	12:00	×	No	-	-	解熱過程	Yes	No	No	No	No	不明	異-1-107	
274	B03008735	85	年 女性	全健忘	2003/12/28 ~12/28	1日2回	2003/12/28	1:00	-	-	-	14時間	No	解熱後	No	No	-	No	無	異-1-7	
275	B05024865	85	年 男性	観望	2006/2/3 ~2/5	1日2回	①2006/2/5 ②2006/2/8 ③2006/2/7	①夕方 ②朝 ③1:30	-	-	-	-	Yes	解熱過程	No	No	No	No	失明患者 認知症	異-1-84	
276	B04027261	90	年 女性	観望	2005/3/10 3/11~3/13 3/14	1日2回 1日1回	2005/3/12	18:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	異-1-22	



異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	発熱 発症 時刻	就寝中の場合、 就寝時刻から発 症までの時間	発熱 時刻	発熱 程度	発熱 持続	発熱 再発	発熱 再発	発熱 再発	発熱 再発	発熱 再発	発熱 再発	発熱 再発	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたかどうか?)	旧資料No	
277	B05025587	80	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2008/2/15 2/16~2/17	夕 朝-夕	①2008/2/18 ②2008/2/18 ③2008/2/19	①1:00 ②4:30 ③7:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2008/2/14 夕方頃より発熱38.3℃、せき、鼻水 2008/2/15 (15:00)熱38.8℃、(17:00)米糞。2日間接触のあった者がインフルエンザ だったことが判明した為、タミフル及び併用薬を処方(インフルエンザの確定 診断は行っていない)。帰宅後タミフル1カプセル服用。 2008/2/16 平熱、咳あり。薬 朝・夕服用。 2008/2/17 平熱、咳あり。薬 朝・夕服用。 2008/2/18 (1:00)夜中、大きな声を出し幻覚症状訴える。薬中止。幻覚症状緩 く、興奮状態。 2008/2/19 (4:30)朝、大きな声が出るので見ると部屋のサツンが開いて普賢全 く出られないところから外へ出た後、廊下に立っていた。左手を痛める(原因不 明)。排便後ベッドに入る。(7:00)朝食のため呼びに行くと、また外へ出た態で いた。幻覚あり。嚔を取った後、敷れたように嘔り続ける。時々水分を取らせるも 熱曜。(20:30)夕食。手を痛がる。トイレ時、下着が上げられない。 2008/2/20 (10:00)来院。左手首ねんざ、両下肢に打撲傷、擦り傷あり。 幻覚、異常行動回復。	異-1-74	
278	B05001176	84	年	男性	胃腸出血	2005/3/24	17:30	2005/3/27	17:00	-	No	-	-	-	-	-	-	-	-	1986/12/28 慢性腎不全にて血透析開始。 2005/3/24 (午後)39.5℃の発熱のため透析後内科受診。インフルエンザA型と 診断。(18:00)入院。38.4℃(17:30)38.4℃。タミフル1cap、ロキソニン1錠服用。タミ フル、ロキソニンは1回のみ。(21:00)BT38.7℃。その後は発熱を認めず。 2005/3/25 解熱。 2005/3/26 透析実施。 2005/3/27 (不審行動の詳細は不明。個室であり、3月27日曜日であった。少 し認知症の気があった。)吐しゃ物の潜血反応検査実施(出血量としては極 少量)この時点から消化管出血があったかは疑問。(17:00)不審な行動あり、そ の後嘔吐(潜血反応)(18:00)一時禁食にしていたが、嘔吐、気分不快なく同日夕 食を介助にて摂取した。(この時にはタール便なし) 2005/3/30 (8:00)朝食も半分量摂取。気分不快等の訴えもない。(14:15)タール 便中等量、胃部痛あり、そのため禁食。(22:20)突然の下血多量(タール便)。顔 色不良。その後も下血続いていった。翌日胃カメラを予定される。 2005/3/31 (2:30)呼吸状態悪化。血圧低下。挿管人工呼吸器装着。(3:00)血圧 低下。(3:30)心拍数低下(4:27)死亡確認。	不明	異-1-128
279	B07013381	84	年	女性	異常行動	2007/3/28 2007/3/28 2007/3/30 2007/3/30 2007/4/1 2007/4/1 2007/4/2 2007/4/2 2007/4/3 2007/4/3	朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/28	夜間	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/28 インフルエンザA型と診断。発症時の首他各症状として発熱 (38.5℃)、頭痛、関節痛を認める。タミフルカプセル75の投与を開始(〜3月31 日まで投与)。夜間 異常行動(非重篤)発現。訳のわからない発熱とともに 屋外に出て行ってしまった。異常行動は回復。その後は特に異常行動はなかつ た。		
280	B07000403		女性	異常行動	不明	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本府投与後、1自分が遊歩になった。2階に足が引っついて離れない2時間くら い居る。毎とおぼがしぼく押さえておくことなきを得たとの報告を受けた。もと も患者は精神科に通っている。	異-2-57	
281	B07013378	小児	男性	異常行動	不明	2007/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	急性重篤の既往あり。 不明 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2007/3 3人兄弟全てインフルエンザに感染したが、当患者だけ、家の中を走り 回るなど異常な行動が見られた。 不明 翌日には回復しており一時的であった。 2007/3/2インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始。(75mg×2/日)走行中 の車からの飛び出し。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。	急性重篤	
282	B07000209	青少年	男性	異常行動	2007/3/2	不明	2007/3/2	-	-	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明	異-2-38	